

令和7年度 広島市男女共同参画推進センター 事業報告書



指定管理者 男女共同参画ひろしまグループ

目次／令和7年度 実施目標

目次

令和7年度 実施目標	・ ・ ・	1 頁
施設概要	・ ・ ・	2 頁
業務実施評価	・ ・ ・	2 頁
男女共同参画についての事業	・ ・ ・	2 頁
女性の多様なキャリア形成支援	・ ・ ・	4 頁
人権講座	・ ・ ・	5 頁
子育て支援・託児	・ ・ ・	5 頁
市民との協働・連携事業	・ ・ ・	6 頁
相談事業	・ ・ ・	7 頁
自主事業	・ ・ ・	8 頁
図書資料室の運営	・ ・ ・	8 頁
平和関連事業	・ ・ ・	9 頁
展示・ギャラリーの運営	・ ・ ・	9 頁
調査研究	・ ・ ・	9 頁
メディア掲載実績	・ ・ ・	9 頁
令和7年度 成果と課題	・ ・ ・	10 頁
令和7年度 予算・決算	・ ・ ・	10 頁

令和7年度 実施目標

- 1 男女共同参画に関する普及啓発
- 2 男女共同参画に関する講座等の開催
 - ☐男女共同参画基礎講座
 - ☐仕事と家庭の両立に関する講座
 - ☐女性の活躍推進を図るための講座
 - ☐女性の就労支援に関する講座
 - ☐地元の大学・事業所・広島市男女共同参画推進センター登録団体・NPO等と連携した講座
 - ☐人権教育講座
 - ☐広島市男女共同参画推進員と連携した講座等
 - ☐男女共同参画の視点を取り入れた防災講座
 - ☐女性の政治参画に関する講座
 - ☐生涯を通じた男女の健康に関する講座
- 3 相談
 - ☐電話相談 「女性・男性のためのなんでも電話相談」
 - ☐面接相談 「女性のための面接相談」
 - ☐グループ相談 「女性のためのグループワーク」
 - 「男性のためのグループトーク」「介護のお悩み相談」
 - ☐相談員研修／養成講座／広報
- 4 男女共同参画に関する調査研究
- 5 男女共同参画に関する情報の収集と提供
- 6 男女共同参画に関する活動及び交流の場の提供
- 7 その他広島市が必要と認める事業
- 8 自主事業
- 9 利用者の利便性を図る事業
- 10 管理施設の利用促進に係る数値目標と目標達成のための方策

施設概要／業務実施評価／男女共同参画についての事業

施設概要

【施設概要】

名称 広島市男女共同参画推進センター
愛称 ゆいぽーと
所在地 広島市中区大手町5丁目6番9号
建物 複合施設フラワープラザタカノバシの南側1階～5階
規模 施設専用延床面積 2,569.59㎡ 共有部分面積 319.38㎡
開館年月日 平成24年4月1日／駐車場 なし

業務実施評価

評価（広島市による令和6年度業務実施評価）

1、実施状況

- ①業務の実施状況・・・S
- ②施設の利用状況・・・S
- ③利用者の満足度・・・S

2、評価 5段階評価・・・S

5段階評価 S：良好 A：おおむね良好 B：普通 C：改善を要する
D：抜本的な改善を要する ー：評価を行わない

（令和7年度業務実施評価は8月頃）

男女共同参画についての事業

男女共同参画フォーラム 組織を強くするDEI戦略 ～女性活躍の進め方～

2025年10月24日（金）14：00～16：00

講師：藤本 圭子さん（岩元法律事務所 弁護士）

木下 麻子さん（株式会社ひろぎんホールディングス 執行役員）

場所：ゆいぽーと5階研修室 参加人数：35人

共催：日本政策金融公庫 広島支店／広島県ビルメンテナンス協同組合

●日本の女性活躍の遅れと、その背景にあるアンコンシャス・バイアスを解説するとともに、人材育成に必要な視点を紹介した。また、「男性に女性と同じ配慮を、女性に男性と同じ責任を」という公平性の視点に基づくDEI推進や、「自分らしくいられる環境づくり」の重要性が示された。参加者からは「今後の業務に活かしたい」「キャリアに悩んでいたタイミングだったため多くの気づきが得られた」「リーダー就任を打診された時期に参加し、背中を押された」などの声が寄せられた。なお、フォーラムの内容は報告書にまとめ、参加者以外も閲覧できるようホームページで公開している。

SDGs講座 世界が直面する貧困 ～その現状と課題～

2025年11月1日（土）14：00～16：00

講師：三上 知佐さん（国連訓練調査研究所（ユニタール） 広島事務所長）

場所：ゆいぽーと5階研修室 参加人数：9人 手話通訳あり

●今回の講座では、SDGs目標1「貧困をなくそう」に焦点を当て、世界で深刻化する貧困の現状や、その背景にある社会的・経済的要因について理解を深めた。後半のグループワークでは、私たち一人ひとりがどのような行動を取るべきかを話し合い、全体で共有することで、課題を「自分事」として捉え、自分に何ができるのかを具体的に考える貴重な機会となった。

男女共同参画基礎講座 日本の女性映画脚本家たちの歴史

2025年6月8日（日）10：00～11：30

講師：森宗 厚子さん（広島市映像文化ライブラリー 映像文化専門官）

場所：ゆいぽーと5階研修室 参加人数：24人

共催：広島市映像文化ライブラリー／公益財団法人広島県男女共同参画財団

●水木洋子や高山由紀子など、女性脚本家たちの歴史についての解説。日本の映画業界のジェンダー格差やジェンダーバイアス（性別による偏見）について知ることができた。

男女共同参画についての事業

広島市男女共同参画推進員養成講座

①②2026年1月18日(日) ③④1月25日(日) 13:00~16:00

講師・内容：

- ①横山 美栄子さん(広島大学ハラスメント相談室 名誉教授) ・男女共同参画の基礎知識
- ②広島市男女共同参画推進センター職員 ・男女共同参画推進員の活動について
- ③上水流 久彦さん(県立広島大学地域基盤研究機構 教授) ・ジェンダー概念を超えて～「日常」の批判的検討から
- ④広島市男女共同参画推進センター職員 ・事業計画書とチラシの作成

対象：次の要件を満たす18歳以上の方<広島市民、又は広島市内で活動ができること／男女共同参画の推進について意欲があること／講座終了後、市や地域団体などからの要請に応じ、学習の支援をはじめ、地域などで男女共同参画を推進する自主的な活動(公民館・ゆいぽーとなどでの講座の講師や企画運営など)ができること>

場所：①②オンライン ③④ゆいぽーと5階研修室 **参加人数：**延べ12人

●戦後から現代までの男女共同参画の流れを押さえる「基礎知識」と、「ジェンダー」に焦点を当て、日頃当たり前と思っているジェンダー事象を疑い、その事象に性差は必要か考えた。両日とも意見交換が活発に行われ有意義なものとなった。修了要件は「振り返りシート」の提出と「男女共同参画の視点で考えた講座・企画書」の作成。知識を深め、推進員の役割を理解してもらった結果6人が推進員に登録した。当センターでも、推進員と連携した講座やイベントについて計画し、フォローアップ研修などを通じて支援していく。

広島市男女共同参画推進員会議

2025年6月22日(日) 14:00~16:00

対象：広島市男女共同参画推進員 **場所：**ゆいぽーと5階研修室 **参加人数：**12人

●事業の円滑化、活性化及び推進員の更なる活動に繋げるための会議を実施。「一人では何から始めて良いのかわからないが、誰かと共有しながら進めていけるのなら大きな力になるのではないか」という声は非常に印象的だった。推進員同士の連携強化が不可欠であるという認識が共有された。情報や知見を共有することでより大きな成果を生み出せる可能性を示唆している。

広島市男女共同参画推進員企画運営講座

ワタシの未来を描こう～社会で輝く理系女性のリアルストーリー～

2025年11月8日(土) 13:30~16:00

パネリスト：一場 未帆さん(有限会社一場木工所 代表取締役／技術士)
橋本 志穂美さん(広島市男女共同参画推進員／建築士)
橋本 まゆみさん(広島市男女共同参画推進員／WEBデザイナー)

対象：女子高校生・女子大学生・女子専門学校生等 **場所：**ゆいぽーと5階研修室 **参加人数：**13人

●推進員自ら手を挙げ、何度も打ち合わせを重ね企画から運営まで積極的に取り組んだ。推進員としての経験と自信に繋がった。社会で活躍する理系女性3人の経験談を通じて、参加者は自分の興味が進路に繋がる実感を得ると共に、性別にとらわれない主体的な選択意識を高めることができた。また社会や環境に配慮した事例を知ることで理系分野の社会的意義を理解する貴重な機会となった。

広島市男女共同参画推進員フォローアップ研修

2026年3月8日(日) 13:00~15:00

内容：広島市男女共同参画推進員企画運営講座の実践者の経験共有と企画づくりワーク

対象：広島市男女共同参画推進員 **場所：**ゆいぽーと5階研修室 **参加人数：**5人

●広島市第3次男女共同参画基本計画をもとに関心のある分野についてアンケートを実施。推進員82人のうち27人からの回答があり、今後の体制づくりに活かせる基礎資料が得られた。研修では、参加者の主体性と活動意欲の向上が確認でき、推進員の今後の参画促進に有効な内容となった。

女性のための政治講座

2026年1月17日(土) 10:30~12:30

講師：永山 博之さん(広島大学大学院 人間社会科学研究科 教授)

場所：ゆいぽーと4階研修室1 **参加人数：**9人

●初心者向け講座として、主に地方議員や地方選挙について学んだ後、後半は45分間の質疑応答を行った。参加者からは次々と質問が寄せられ、政治への関心や「もっと知りたい」という思いの強さが感じられた。

女性の政治参加に関する講座 市議会に行こう！

2026年3月26日(木) 9:30~11:30

説明・引率：広島市男女共同参画推進センター職員

場所：広島市議会議事堂5階 傍聴席 **参加人数：**12人

●地方政治の仕組みや議会運営についての説明を行った後、広島市議会議事堂にて本会議を傍聴した。こども7人を含む参加者からは、「よい機会になった」「これからも関心を持ち続けたい」との意見が寄せられ、地方政治を身近に感じ、関心を高めるきっかけとなった。

男女共同参画についての事業／女性の多様なキャリア形成支援

エストロゲンに振り回される女性を理解しよう

2026年1月24日（土）14:00～15:30

講師：保谷 茉莉さん（一般社団法人ココテラスひろしま 医師）

場所：ゆいぽーと5階研修室 参加人数：16人

● 月経の基本的な仕組みを理解し、月経困難症などエストロゲンが悪化し起こる病気があることを知ることができた。月経量の実験を通して、月経の個人差や自身の健康管理の大切さ、周囲への理解の重要性について改めて認識した。「医師による月経や更年期についての話はわかりやすかった」などの感想が寄せられた。

誰がやる？どう動く？災害時の“あれこれ”を知る ～多様な立場から備える～

2025年9月7日（日）14:00～16:00

講師：三宅 由紀子さん（管理栄養士／防災士／子育て支援員）

場所：ゆいぽーと5階研修室 参加人数：31人

● 立場が違えば備えも変わる、いざという時に誰がどう動くのかを考えられるテーマだった。男女共同参画の視点を取り入れた防災講座ということで、「男女共同参画」とは何か解説をし、災害時の役割についても考えた。グループワークでは「防災士」と「地域住民」のグループに分かれ、災害時に男性として、女性として、または誰でもできることについて、話し合いを行った。それぞれの立場で自分にできることと互いに求めることを共有した。

防災食をつくろう

2026年3月28日（土）10:00～12:00

講師：三宅 由紀子さん（管理栄養士／防災士／子育て支援員） 対象：大手町5丁目にお住まいの方

場所：ゆいぽーと4階生活実習室 参加人数：27人

● 地域の町内会と連携し、災害時を想定した訓練としてごはんや栄養を考慮したおかず合計5品をポリ袋で調理し、試食をする体験を行った。

出前講座 0歳から始める性教育 ～親子で向き合う時間～

2026年3月16日（月）10:30～11:30

講師：西本 紗織さん（助産師／広島県助産師会より派遣）

対象：0歳児とその保護者 ※年度途中で1歳になっても、その年度内は参加OK

場所：高陽公民館 参加人数：17人

● なぜ性教育が必要か、性教育をすることで子どもにどのような影響があるかを考えるきっかけとし、幼少期から性教育をすることは身を守るためだけでなく、心を育む土台になるということを学んだ。

女性の多様なキャリア形成支援

女性管理職ホンネでトーク座談会

2025年11月16日（日）13:30～16:00

ファシリテーター：嶋治 美帆子さん（広島電鉄株式会社 執行役員／国家資格キャリアコンサルタント）

武島 弥恵さん（株式会社日本政策金融公庫 広島支店 国民生活事業 総括第二課長）

藤本 圭子さん（岩元法律事務所 弁護士）

対象：企業・自治体などに勤務している管理職の女性 場所：ゆいぽーと5階研修室 参加人数：7人

● 参加者同士が経験や課題を共有することで自己理解が深まり共通の問題点や工夫が明らかになる有意義な場となった。また業務に活かせる具体的なヒントや組織への貢献を考える視点にも繋がった。

女性のためのキャリアデザインを描いてみよう

① 2025年9月27日（土）② 10月4日（土）14:00～16:00

講師：松浦 典子さん（広島市男女共同参画推進員／CDA・キャリアカウンセラー／スマイルフラッグ 代表）

対象：就職・再就職希望の方、子育て等で休職中の方等（概ね30～40歳の女性）

場所：ゆいぽーと5階研修室 参加人数：①7人 ②11人

● 参加者同士、自分自身の経験を振り返り経験や思いを言葉にすることで今に繋がる共通点や自分らしさ、価値観に気付くことができた。また、他者からの観点やフィードバックを得ることで新たな気づきを得られた。未来を切り拓くための気づきや行動変容にも繋がった。

女性の多様なキャリア形成支援／人権講座／子育て支援・託児

就職支援講座 自分らしく生きるために、これからのキャリアを考える

2026年2月1日（日）14:00～16:00

講師：稲田 真理子さん（広島キャリア形成・リスクリング支援センター／キャリアコンサルタント）

対象：求職中の女性・転職予定の女性

場所：ゆいぽーと5階研修室 参加人数：7人 共催：キャリア形成リスクリング推進事業

● ジョブ・カード活用ガイドにより、自分の人生の振り返り、今後のキャリアを考えるきっかけづくりを行った。また応募書類・面接時のアドバイス、求職活動実績証明書の発行、就労支援面接相談の受付など、即就職活動に活かせる講座を行った。

起業セミナー Morning Cafe特別版 ～私らしい一歩、叶える朝～

2026年1月27日（火）9:00～10:30

登壇者（第9回中国地域女性ビジネスプランコンテストSOERU受賞者）：

榎 春菜さん（koco photo）・石本 弥生さん（ハンディモア代表）

対象：起業に関心がある方または起業予定の方、起業間もない女性事業者・経営者

場所：fabbitt広島駅前

参加人数：21人

共催：独立行政法人中小企業基盤整備機構、株式会社ティーケーピー、株式会社日本政策金融公庫

後援：一般社団法人中国地域ニュービジネス協議会、公益財団法人広島市産業振興センター

● SOERU受賞者から起業に至る想いや経緯を伺い、参加者にとっては、身近な実例として起業のヒントを得る機会となった。

女性デジタル人材育成講座 AI入門講座

2026年3月21日（土）10:30～12:30

講師：矢代 大志さん（国家資格キャリアコンサルタント）

対象：AIに関心のある女性 場所：ゆいぽーと5階研修室 参加人数：28人

● ChatGPTとGeminiのアプリを使い、各自が実際に操作しながら、基本機能や使い方、注意点などを学んだ。参加者からは、「実践形式で学べてよかった」「入門編ということで、分かりやすく学べ、質問しやすい雰囲気であった」などの感想が寄せられ、満足度の高い講座となった。

人権講座

ジャーナリストと考える、ハラスメント ―誰もが生きやすい社会をめざして―

2025年11月22日（土）14:00～16:00

講師：宮崎 園子さん

場所：①ゆいぽーと5階研修室 ②オンライン 参加人数：①55人 ②4人

共催：ゆいぽーと男女共同参画推進協議会

● 講師の新聞記者時代からの経験を踏まえたハラスメントに対する考え方を聞くことができ、人が人として大事にされる社会とは何かということを考えるきっかけとなった。

人はちがうから おもしろい ―こどもたちのための人権教育・はじめの一歩―

2025年11月29日（土）14:00～16:00

講師：城 英介さん（“人間と性”教育研究協議会広島サークル代表幹事）

対象：小学生（保護者の同伴または送迎が必要）

場所：ゆいぽーと5階研修室 参加人数：9人（うち小学生3人）

● 自分と違う人を知り大切にできることは、自分自身を知り大切にできるようになることをワークシートなどを使用し学ぶことができた。参加した小学生からは、「さまざまなきもちなどを知ることができた」「安心は『ホッ』や『ほんわか』『よかった』などの気持ちがふえることがいいし、安心することが大切だと思った」などの感想があった。

子育て支援・託児

おやこひろば ①夏祭り ②保健師さんのおはなし ③サンタさんと遊ぼう

①2025年8月22日（金）②10月17日（金）③12月12日（金）10:30～11:00

対象：未就学児と保護者 場所：①③ゆいぽーと5階研修室 ②2階こども室

参加人数：①21人 ②9人 ③35人

運営：子育てサポーター「ぴよぴよの会」

● 8月は、室内で夏を感じられる「夏祭り」、10月は、保健師さんによる「災害時の備えについて」、12月は、「サンタさんと遊ぼう」を開催した。手遊びや合奏など、こどもと保護者が一緒に楽しめる満足度の高い講座となった。

子育て支援・託児／市民との協働・連携事業

男性の育児参加促進応援事業 ベビー&パパのおやこヨガ

2025年11月15日（土）11:00～12:00

講師：深澤 葉子さん（フィットインジャパン株式会社）

対象：6ヵ月～1歳半までの乳幼児とパパ（ママの付き添いもOK）

場所：ゆいぽーと3階フィットネスルーム 参加人数：14人

●父親が乳幼児のこどもとふれあいながら親子で楽しむヨガの方法を学んだ。今後の積極的な育児参加に繋がる講座となった。

育休カフェ ①乳幼児期の親と子のコミュニケーション

②入園準備 ～入園前に知っておきたいこと～

講師：堀江 宗巨さん（くすの木保育園 認定こども園くすの木 大園長／株式会社くうねあ 代表取締役）

対象：育児中の方、プレママ、プレパパ、育児に関心のある方

場所：ゆいぽーと5階研修室

①2026年2月21日（土）14:00～16:00

参加人数：3人

●アタッチメント（愛着）の育み方、こどもの成長過程に応じた関わり方、向き合い方など親子の絆を強くする方法を紹介し、育児中の参加者の参考になる講座となった。

②2026年3月7日（土）14:00～16:00

参加人数：5人

●入園までのスケジュールに沿って確認しておくべきポイントの解説、慣らし保育の日程の調整、入園後の困りごとなどについて具体的なアドバイスを行った。入園を間近に控えた参加者から「不安や悩みが解消された」との感想が寄せられた。

講座託児

対象：生後6ヵ月～未就学児 場所：ゆいぽーと2階こども室 託児人数：延べ18人

●子育て世代の方にも積極的にゆいぽーと主催の講座や面接相談に参加していただくため無料の託児を実施した。

託児サポーターフォローアップ講座 幼児安全法

2026年2月13日（金）12:30～14:30

講師：阿部 直美さん（日本赤十字社指導員）

対象：子育てサポーター「ぴよぴよの会」会員 場所：ゆいぽーと3階音楽練習室1・2

参加人数：8人

●乳幼児の一次救命措置を経験や事例をもとに説明いただき、呼吸困難に陥った際の行動を実践しながら確認を行った。乳幼児の人形を使用しながら腹部圧迫法や心肺蘇生法などを学んだ。

市民との協働・連携事業（一部抜粋）

みんなでいっしょに考える自分らしさって何だろう？

2026年2月8日（日）14:00～16:00

場所：ゆいぽーと5階研修室 参加人数：22人

企画運営：広島大学ジェンダーサークルSE!!!!／広島市立大学ジェンダーゼミ

●男らしさ、女らしさについて考えるワークを通して幅広い年代と、もやもやした経験を共有したあと、広大生と市大生が、ジェンダーの歴史や男らしさ、女らしさがどこから来ているのか、について解説を行った。ワークや講義を通して自分が大切にしたい価値観、モノ、言葉等を見つけて表現したおまもりづくりを行い、自分らしさを見つめなおす時間となった。

ゆいぽーと協議会加入団体交流会 ①展示発表 ②ワークショップ(1)年齢性別などボーダーレスな格闘技カポエイラ体験 ～女性インストラクターによるワークショップ～(2)道徳教科書にみる性別役割分担の描かれ方を考える ③ステージ発表

①2026年1月31日（土）午後～2月21日（土）午前

②2月7日（土）13:00～15:00 ③2月15日（日）13:00～16:00

場所：①ゆいぽーと1階ギャラリー ②(1)3階フィットネスルーム(2)4階研修室1 ③5階研修室

参加団体：①～③18団体 参加人数：①延べ3,145人 ②(1)7人(2)12人 ③150人

共催：ゆいぽーと男女共同参画推進協議会

●ワークショップ、ステージ発表、展示発表を行い、男女共同参画推進に関わる日頃の活動成果を発表することができた。「舞台発表、皆さんの活動の様子がよくわかりとても良かったです」「1年間かけての発表会の出演、皆楽しんでおられた様子が伺えました」などの感想をいただいた。

相談事業

女性・男性のためのなんでも相談（電話相談）

● 女性電話相談の年間件数は3,081件（昨年度3,227件）、男性相談の件数は295件（昨年度305件）だった。女性電話相談においては、全体の相談件数が前年比95.5%とやや減少傾向にあるもののリピーターが78.8%と高く継続的に相談窓口を利用する相談者が多い点が特徴として挙げられる。男性電話相談件数は前年比96.7%と一定の相談需要が継続していることが確認できた。幅広い相談に対し相談者の心の拠り所として機能しており継続的な利用につながっている。また、相談者に寄り添った支援の一つとして面接相談への連携も意識されている。

女性のための面接相談

①法律（女性弁護士）	第1・2木曜日	13:00～16:00	43件
②就労支援 （女性キャリアコンサルタント等）	第2金曜日 第2土曜日	18:30～19:30 13:00～15:00	計19件
③こころ（女性臨床心理士）	第4木曜日	13:00～16:00	29件
④一般（相談員は内容による）	随時		0件

生理用品の提供

● 経済的な理由等で生理用品を購入できない女性に生理用品の提供を行った。電話相談からの受付またはアンケートにお答えいただくことでお渡しする2通りの方法で支援することができた。

女性のためのグループワーク 安心して話し、聴きあうことで力をもらえる場所がある

①2025年4月22日（火）②6月28日（土）③8月26日（火）④10月25日（土）
⑤12月23日（火）⑥2026年2月17日（火）10:00～12:00

講師：下西 さや子さん（元 広島国際大学 教授／精神保健福祉士）

対象：18歳以上で子育てや孫育てなどに不安や悩みのある女性（高校生は除く）

場所：ゆいぽーと3階音楽練習室2 参加人数：延べ26人

● 子育て、家庭、仕事、健康等、様々な悩みについて、参加者同士の交流を通じ、多角的な意見をもらうことで、理解を深め、課題の解決に向かう力をつける講座を行った。悩みを抱える方の居場所として、問題が深刻化する前の予防機能として意義のある講座となった。

男性のためのグループトーク みんな、聞いてえや

①2025年12月5日（金）②2026年1月9日（金）③2月6日（金）
18:30～20:30

ファシリテーター：永川 邦久さん（こあ・カウンセリングルーム 主宰／心理療法士）

対象：成人男性 場所：ゆいぽーと4階会議室1 参加人数：延べ8人

● 回ごとに「職場や地域の人間関係」「家族とのこと」「男性ってしんどい？ 一性役割のプレッシャー」というトークテーマを設け、日々の悩みや不安の解消・軽減をめざした。グループトークの男性版は初めての試みだったが、参加者からは継続開催を求める声があり、ニーズがあることが分かった。

介護初心者のための入門的相談・勉強会 ①いざという時に役立つ介護の知識 ②介護にまつわる様々なケースについてグループワークで学ぶ

講師：平田 智之さん（おおうち病院居宅介護支援事業所 所長）

対象：ご家族などの介護に備えておきたい方 場所：ゆいぽーと5階研修室

①2026年3月1日（日）15:00～16:30

参加人数：10人

● 介護保険制度、介護の費用、相談窓口、認知症など介護の基礎的知識と将来自分の意向に沿ったケアや医療を受けるための人生会議について講義を行い、後半は質疑応答の時間を設けた。

オンデマンド配信期間：3月14日（土）～28日（土）17:00 参加人数：5人

②2026年3月14日（土）10:30～12:00

参加人数：4人

● 認知症や脳梗塞後遺症の方の介護事例を紹介し、具体的な対応の仕方をイメージしやすい形で示し、グループワークを行った。また介護を担う女性への負担が大きい現状も伝えた。参加者からは介護について理解が深まったとの感想が寄せられた。

人材育成研修会 DV法改正やDV相談支援を取り巻く状況の変化について

2026年1月30日（金）14:00～16:00

講師：北仲 千里さん（広島大学ハラスメント相談室 准教授）

対象：相談業務担当者

場所：ゆいぽーと5階研修室 参加人数：15人

● DV防止法改正など最新のDV関連法や増加しているデジタル被害について、海外の状況も交え学んだ。電話相談に従事している他施設の職員も参加し、ゆいぽーと電話相談員との有効な交流の場にもなった。

自主事業／図書資料室の運営

自主事業

ゆいぽーとフィットネス 第1期～第4期 ①ゆったりヨガ ②ピラティス ③ZUMBA

2025年4月～2026年3月（木曜日）各期各コース11回ずつ（全44回×3コース）

①11:30～12:30 ②13:30～14:30 ③15:00～16:00

内容：①ライフステージに合わせ身体を整える ②インナーマッスルを強化し柔軟性を高める
③音楽に合わせたエクササイズ

講師：フィットインジャパン株式会社 専任講師 対象：女性 場所：ゆいぽーと5階研修室

参加人数：①延べ828人 ②延べ822人 ③延べ591人

- 女性特有の健康問題について学びながら、女性の生涯にわたる健康づくりを支援することが出来た。

楽しい絵手紙講座

毎月第2火曜日（8月は第3火曜日／10月と1月は第1火曜日）10:00～12:00

講師：信政 ちえ子さん（日本絵手紙協会公認講師）

場所：ゆいぽーと4階研修室1 参加人数：延べ172人

- 日常の小さな変化や感動に気付く機会となり参加者の個性や表現力を引き出す有効な場となっている。後期、11月16日（日）～12月26日（金）ギャラリー展示によってその個性を広く発信する機会に繋がった。誰もが対等に個性を表現できる環境づくりが意識されている。

社会人の学び講座 伝わっていますか、あなたの気持ち

～よりよいコミュニケーションのために第2弾～

2026年2月22日（日）10:00～12:00

講師：久次 弘子さん（コミュニケーションアドバイザー／元 広島国際大学 教授）

場所：ゆいぽーと5階研修室 参加人数：14人

- コミュニケーションは、話す・聞くという行為だけでなく相手の背景や状況を思い描きながら関わる意識が大切であることを学んだ。非言語コミュニケーションや声のイントネーションも信頼関係の構築に大きく影響することを整理できた。これらの視点を身につけることは、参加者の対話力、支援力が向上し日常のコミュニケーションの質を高める有効な学びの機会となった。

なつかしのビデオシアター『まんが日本昔ばなし』

2026年3月29日（日）11:00～16:30

対象：未就学児と保護者 場所：ゆいぽーと2階こども室 参加人数：4人

- こども室の利用促進として実施した。『まんが日本昔ばなし』でも、なるべく現代のジェンダー観に合うものを選定した。参加者はこども室のリラックスした雰囲気の中、作品を楽しんだ。特にこどもたちは昔話の題材でも声をあげて喜んでくれた。

図書資料室の運営

ゆいぽーと図書資料室について

- 開室時間 9:00～20:30
- 広島市内および近隣の市町村にお住まいの方、市内に通勤・通学している方は資料を借りることができる（一部資料を除く）。1人3冊・2週間まで（2週間延長可 ※新着図書・企画展示本・雑誌を除く）。
- 絵本コーナーを充実（年齢別の配架、廃棄本の選定、修理など）させた。

フリーペーパー『結い文庫』

- 新着本やおすすめの図書紹介などを掲載している『結い文庫』を年2回発行した。

①ライブラリーニュース2025年秋号（8月26日発行）

②ライブラリーニュース2025年冬号（11月28日発行）

企画展示

- 男女共同参画の意識啓発につながるテーマで2回の企画展示を開催した。

①『男女共同参画週間』 2025年6月10日（火）～29日（日）

②『SDGsと環境』 2025年10月28日（火）～11月30日（日）

参加人数：①延べ172人 ②延べ271人

図書資料の利用状況

- 年間利用者数はこども室配架資料の利用者などを含め延べ5,640人、貸出利用登録者数は52人、貸出冊数は延べ707冊、貸出人数は延べ409人となった。

平和関連事業／展示・ギャラリーの運営／調査研究／メディア掲載実績

平和関連事業

平和の祈りコンサート

2025年9月21日（日） 16:00～17:15

出演：千田パンフルート合唱隊／ひろしま音読の会

場所：ゆいぽーと5階研修室 参加人数：65人

● 千田パンフルート合唱隊による演奏と合唱、ひろしま音読の会による朗読のコラボレーションにより、平和への思いを伝えるコンサートを実施した。“被爆樹木カイヅカイブキ”からパンフルートが作られるまでの映像や、原爆で家を失った市民のために市内に住宅を建設したアメリカ人の話など、被爆80年を迎え復興への思いや、平和を守り続けることの大切さを再認識する機会となった。

展示・ギャラリーの運営（一部抜粋）

男女共同参画週間展示

2025年6月10日（火）～29日（日）

場所：ゆいぽーと1階ギャラリー 参加人数：延べ2,733人

● 内閣府男女共同参画局実施の『男女共同参画週間』に合わせ、男女共同参画週間展示を行った。令和7年度男女共同参画週間キャッチフレーズ「誰でも、どこでも、自分らしく」の紹介や男女共同参画についてパネル企画展示を行い、自分らしく生きる選択ができる社会づくりについて考えるきっかけにつながる展示となった。

DV防止キャンペーン展示

2025年11月5日（水）～30日（日）

場所：ゆいぽーと1階ギャラリー 参加人数：延べ3,262人

● 内閣府男女共同参画局実施の『女性に対する暴力をなくす運動』に合わせ、DV防止啓発パネル展示を行った。『パープルリボン運動』、「デートDV」について取り上げたパネル、女性に対する暴力の現状と課題をまとめた資料、相談窓口のリーフレット等を掲示し、身近に起きうる暴力について考えるきっかけづくりに貢献した。

国際女性デー関連展示

2026年2月25日（水）～3月31日（火）

場所：ゆいぽーと1階ギャラリー 参加人数：延べ4,618人

● 『国際女性デー』（3月8日）に合わせ、国際女性デーの成り立ちと女性の機会拡大の変遷と現状を伝える展示を行った。ジェンダー平等について国内外の啓発活動に関心を持ち、理解を深める場としてギャラリーを活用した。

調査研究

高齢者層における男女のジェンダー意識に関する調査

対象：広島市内の65歳以上の方 調査方法：調査票（質問紙）及びGoogle Formsを用いたウェブ調査

回答数：244

● 今年度は、高齢者層に焦点を当ててジェンダーに関する意識を分析し、男女の役割分担に対する考え方の現状を把握することを目的として調査を実施した。あわせて、性別によってアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込みや偏見）にどのような違いがみられるのかについても検証した。

来年度は、若年層との比較分析を行い、世代間における意識の差異を明らかにする予定である。また、調査結果をもとに、アンコンシャス・バイアスに気づく機会を提供し、理解を深めることで、課題の把握と解決に向けた方向性を探ることを目指す。

リーフレット発行『家事シェア』からはじまる心地よい暮らし

様式：三つ折りパンフレット 発行部数：1,000部

● 主には退職後の男性に向けて、家事を題材にパートナーに偏った分担を解消し、相互理解を促す目的にリーフレットを作成し、発行した。実際に家事シェアを実践している方の声や、取り組みを始めたことで生まれた変化などを掲載し、読者が自分ごととして捉えやすい内容とした。

メディア掲載実績

ゆいぽーとからの情報発信として、年4回広報誌「ゆいぽーと通信」を発行した。また、市内公共施設約170か所への講座チラシ送付、メールマガジンの発行（月2回程度）、随時ホームページやInstagramの更新をはじめ各種メディアへの情報提供を行い、センターや主催講座を広く広報した。その結果、各種メディアに年間104件掲載された。

令和7年度 成果と課題／令和7年度 予算・決算

1、施設利用の促進と市民サービスの向上

(1) 施設利用者の目標の超過達成

- ・貸室利用団体及び利用者は、使用料減免団体登録団体数115団体、施設利用者265,647人であった。
- ・主催事業及び自主事業を原則対面方式により、事業によってはオンライン方式も取り入れ実施した。

令和6年度（2024年度）／施設利用者目標数257,000人／女性利用者数172,378人／男性利用者数95,905人

令和7年度（2025年度）／施設利用者目標数259,100人／女性利用者数198,131人／男性利用者数67,516人

2、指定管理事業の実施

(1) 主催事業、自主事業の運営

- ・普及啓発は、2025年度男女共同参画フォーラムの開催、地域・事業所への出前講座を実施、家庭における男女共同参画の意識啓発を図るリーフレット等の作成、配布をした。
- ・男女共同参画に関する展示を、年3回、3テーマで実施し、10,613名が閲覧した。啓発資料はHPに掲載し公開した。
- ・講座は、22種類30回の講座及びセミナーを開催した。新たな試みとして「小学生を対象とした人権講座」「地元大学生の企画運営による男女共同参画関連講座」「男女共同参画推進員による企画運営講座」などを開催した。

(2) 調査研究

- ・ジェンダー意識に関する調査の実施（調査対象：広島市内の65歳以上の方、有効回答数244）

令和7年度は高齢者を対象に調査したが、令和8年度は若年層を対象に調査をすることで、世代間における意識の差異を明らかにし、お互いの理解促進と、課題や解決を探る予定である。

(3) 相談事業

- ・電話による女性のためのなんでも相談は、3,081件（昨年3,227件）、男性のためのなんでも相談は、295件（昨年度305件）。女性のための面接相談（法律、就労支援、こころ、一般）は91件（昨年度71件）、広報の強化により多くのお悩みに対応することができた。グループ相談は、女性に加え、新たに男性のグループ相談を企画し、年3回開催した。男性同士が日々の悩みや不安を話せる場は希少で、参加者からは継続開催と広く周知することを求められている。

(4) 資料室運営

- ・情報の収集として全国からの施設資料等の収集・提供の実施。資料室において企画展示（年2回）の実施。

(5) 広報活動

- ・広報紙「ゆいぽーと通信」（年4回）2,000部発行した。市内約170か所の公共施設へ講座等チラシを配布した。
- ・メールマガジンの発行、ホームページ・Instagram・Facebookの随時更新、各種メディアへの情報提供を行った。

(6) フリースペースの活用

- ・1階のギャラリー展示会場において年間を通じて活動等の展示を行った。

3、保守管理業務

(1) 施設管理の実施業務

- ・機械警備業務、清掃業務、冷暖房空調設備保守管理業務、自家用電気工作物保安業務、消防用設備等
- ・保守管理業務、エレベーター保守点検業務を実施した。

(2) 防火・防災体制と訓練・点検の実施

- ・防火訓練を年2回（6月3日、12月10日）、防火対象物点検（3月9日）を実施した。

(3) 施設設備の修繕

- ・非常用照明バッテリー取替え（7箇所）、4階多目的トイレ温水洗浄便座取替え、3～4階非常用照明（階段灯）バッテリー取替え、1階機械室誘導灯取替え、5階会議室2ファンコイルコントローラー取替え、館内監視カメラ用通信装置取替え、機械室給湯循環ポンプ取替え、1階ギャラリー空調室外機部品取替え等を行った。

(4) 環境保全等の活動

- ・「エコアクション21」を更新し、環境保全とSDGsの活動を強めた。

4、市民、利用者サービスと施設従事者の働きやすい環境づくり

(1) 男女共同参画推進センターの使用許可に関する業務は、職員全員で公平公正な使用の確保を行った。

(2) 施設の保守管理業務に携わる職員と事業運営に携わる職員が連携を取り管理運営を行った。

(3) 利用者の意見・要望は「ご意見箱」を設け、対応・報告を実施した。

(4) 職員研修を実施し、施設使用者に対し常に公平公正な接遇に努めた。個人情報保護の学習及び個人情報保護条例を遵守した。労働関係法令遵守及び働き方改革に取り組んだ。

5、令和7年度指定管理料予算・決算

指定管理者：男女共同参画ひろしまグループ

予算／66,744,000円 決算／66,744,000円

発 行：2026年（令和8年）7月

発行元：



広島市男女共同参画推進センター（ゆいぽ〜と）

〒730-0051 広島市中区大手町5丁目6番9号

TEL：082-248-3320 FAX：082-248-4476

URL：<https://www.yui-port.city.hiroshima.jp/>

この報告書に掲載されている画像その他無断転載・転用を禁じます